2017.11.7「図書館のサイン計画はなぜ失敗するのか」フォーラム　アンケート結果

Q1　今回の講演はいかがでしたか？

タイトルにもあるように図書館の色々な失敗を次々指摘され、当館にも耳に痛い話が多くためになりました。

施工前の確認が大事なことが分かった。

ちょっと物足りない。

掲示を貼る作業をそろえたり、テンプレートを共有したり、できることからやっていきたいと思いました。

先生がパワフルでした。

手作りサインが悪いわけではなく、統一性が大事というのが、よくわかりました。

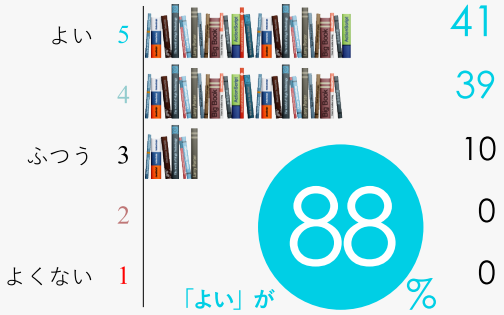
もう７年くらい早く首長に見せたかったです。

耳が痛いくらい、自館の現状をきいているような事例ばかりでした。

デザイナーに結果をフィードバックできるようにするということは、心に残った。

サインの基礎理論が分かり易く、ご紹介いただいた図書を購入したいと思います。

Q2　自館でも取り入れたい改善策のヒントがありましたか？



共有テンプレート、ポスター掲示のルール決め

インデックスのテンプレート化

デザイン意識を持つことを館員の共通認識としたい。

収集とテンプレ周知はがんばってみます。

フォントを揃える。

伝えたい情報をそのつど、作って貼るだけでしたので、評価をしてみたいと思います。

新館の壁は鉄板にしたい。

サインの統一、前任者の残したものを潔く変える。

カウンターでの質問事項の収集は実践したいです。

建築資料の利用。統一するという視点しかなかったので、既にあるということが目から鱗でした。

他の館の方の実例が、リアルで面白かった。

Q3　講演を見て VR を取り入れてみたいと思いますか？

建ってしまっているので、別の利用はしてみたいです。

オフィス側の立場ですがパースを VR で展開が手軽にできれば、と思います。

設計図ではほとんど分からない私たち素人でも分かり易く、意見がし易い。

サインだけではなく、閲覧席、棚の配置イメージで使いたい。

より良いものつくりに有効な手段だと感じた。価格と納期次第。

新キャンパス開設に役立ちそうです。

旧室の解体（弊社には３室の図書館がありますため）の際、検討したいです。

立体的にわかりやすい

思っていたよりもハイクオリティでした。世代が上の人にも納得してもらえそうです。

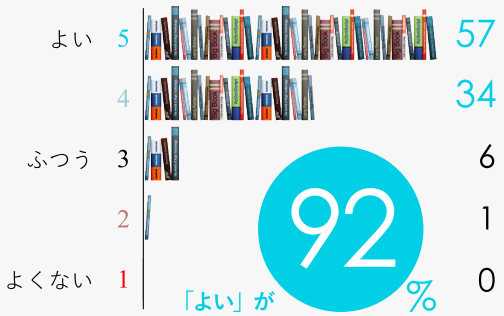
サインの位置や、あり・なしでどんな風になるか、分かり易い。

面白いとは思いますが、取り入れるかと言われると・・。コストとメンテナンスがネックかも。

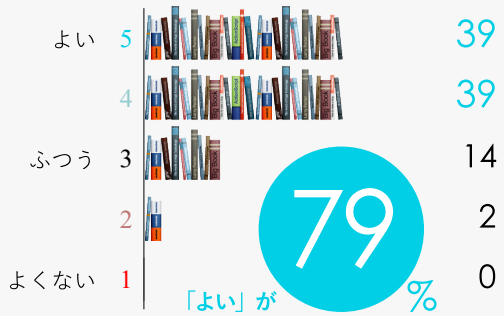
公共図書館にとっては少し現実感がないかもしれません。

見せないと分かってくれない人がいるので。

Q4　説明は分かり易かったですか？



Q5　VR シミュレータは改善に役立ちそうですか？



Q６,７,８　その他、ご要望やもっと詳しく聞きたかった点は？

利用者が迷う事例

企業図書館に対する先生のご見解

サインで全ての情報を伝えることは難しいと考えています。図書館を含めた複合施設で特に注意しておくべきポイント等があれば確認しておきたいです。

光について。逆光や西日で見え難くなっているサインがあるので。

図書館サインのトイレ以外のチェックポイントをお聞きしたかったです。

良い例、悪い例の具体的な図書館

サインが効果的か否かの把握方法

すでに建築から年数が経過している図書館でのサイン対策について

固定サインもだが、臨時の立て看板を置くスペースなど。

当館では、弱視者用の白黒反転の棚見出しを作成しております。次回、弱視者用の VR なども見てみたいです。

有名デザイナーの美意識故の課題が気になりました。

当館では、弱視者用の白黒反転の棚見出しを作成しております。次回、弱視者用の VR なども見てみたいです。

見落としがちなチェックポイントを教えて欲しかったです。

建設後にサイン改善が必要になった場合の改善例について。

VR「うけつけ」なども遠い場所からは視認性が低かったような気がする。張り紙が増えそう。その場合の改善策は？

美意識（館員）のスキルアップ、素養向上の SD 活性化の手法を知りたい。

まとめると

株式会社ハコヤ

今回のフォーラム全体について

よい印象が

92%

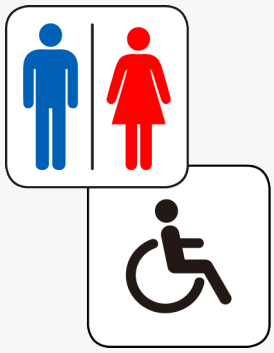
VR を用いてサイン計画を事前に
チェックする必要性は認識できた。
また、その有効性も確認できた。
講演内容も分かりやすかった。
但し、予算的に費用が気になる。

サイン計画の講演について

よい印象が

88%

講師の仁上先生の説明がわかりやすく、
内容も具体的で、大変参考になった。
事例も多く、自館でも活用したい。
次は、具体的に改善された図書館の事例を
見てみたい。
また、写真をもっと加えてほしい。



VR の講演について

ふつうの印象が

31%

VR を用いたサイン計画を含む、事前チェックの
有効性は確認できた。新設や大規模改修時には
費用対効果が合えば活用を検討したい。
但し、既存館では予算的に利用できる場面が
少ない。

今後の課題・修正点について

『講演について』

- 写真をさらに加える。
- よい図書館を具体的事例として紹介する。
- 少しテンポをゆっくりと。

今後も改善を進めます！

『VR シミュレータについて』

- VR のデバイスを用いて体験会を開催。
- 費用をできるだけ抑える。
- トイレ以外のサイン計画を加える。
- 身障者の視点を取り入れる。
- 既存館でも利用できるコンテンツを開発する。

VR シミュレータの費用について

新館計画始動　設計　竣工

いままで

新館開館時に住民説明用や PR 用として
CG 映像を制作するが、高額な制作費が必要

これから

VR シミュレータの 3D モデルを流用すれば
安価に住民説明用コンテンツ開発が可能

3D データ作成